

会 議 録

| | | |
|--------|--|--|
| 名 称 | 酒田市子ども・子育て会議（平成 29 年度第 1 回） | |
| 議 題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 委嘱状交付（任期満了にともなうもの） ・ 報告 <ul style="list-style-type: none"> (1) ニーズ調査の結果について (2) 酒田っ子すくすくプラン平成 28 年度進捗状況について ・ 議事 <ul style="list-style-type: none"> (1) 市子ども・子育て支援事業計画の変更について | |
| 開催日時場所 | 平成 29 年 11 月 16 日（木）13 時 30 分～15 時 51 分 酒田市役所 7 階 703 号室 | |
| 出席者 | 委 員 | 佐藤（徹）委員、石川委員、薬丸委員、佐藤（真）委員、阿部（勇）委員、阿部（幸）委員、石垣委員、宮田委員、高橋（利）委員、加藤委員、岩本委員、橋本委員、白旗委員、伊藤委員、和田委員、鈴木委員 |
| | 関係課等 | 健康福祉部長、学校教育課長、健康課長、福祉課発達支援主幹 |
| | 事務局（所管課） | 子育て支援課長、子育て支援課保育主幹ほか |
| 会議の概要 | ※詳細別紙 | |
| 配付資料 | 資料 1 ニーズ調査の結果について 資料 2 酒田市子ども・子育て支援事業計画 具体的施策の状況（平成 28 年度） 資料 3 と 3-1 市子ども・子育て支援事業計画の変更について チラシ 市民健康講演会 | |
| 特記事項 | 傍聴者 0 名 | |

平成29年度 第一回子ども・子育て会議

場 所：市役所703会議室

日 時：平成29年11月16日（木）

午後1時30分～

～ 委嘱状交付 ～

阿部課長補佐 お疲れ様でございます。定刻となりましたので、会議を始めさせていただきたいと思
います。

本日はお忙しい中、ご出席をいただきましてありがとうございます。暫時の間、司会
進行を務めさせていただきます子育て支援課 課長補佐の阿部と申します。よろしくお
願いをいたします。

それでは、会議に先立ちまして、委員になられます皆様に、委嘱状を交付いたしま
す。委嘱状は健康福祉部長より交付させていただきます。健康福祉部長が席まで参りま
すので、その場でお受け取りをお願いいたします。

健康福祉部長 佐藤 徹様、酒田市子ども・子育て会議条例に基づき、酒田市子ども・子育て会議委
員を委嘱します。委嘱期間は、平成29年11月7日から平成31年11月6日までと
します。平成29年11月7日、酒田市長 丸山 至、よろしく願いいたします。

～他委員へ委嘱状交付 中略～

～ 1 開 会 ～

阿部課長補佐 それでは続きまして、本日の欠席でございますが、お手元の資料の出欠席名簿をご覧
いただきたいと思います。1番、酒田飽海PTA連合会 佐藤 耕様、2番、法人保育所保
護者会連絡協議会 高橋昌雄様、9番、酒田地区私立幼稚園・認定こども園連合会 大滝
宗徳様、16番、酒田地区医師会十全堂 大滝晋介様、以上4名の委員から欠席のご連絡
をいただいております。欠席の方々への委嘱状につきましては、別途郵送させていただき
たいと思います。ご了承ください。

なお、5番の薬丸委員様からは、所要のため会議の途中での退席の申し出がありました
ので、予めご了承をお願いいたします。

本日は、20名の委員中、16名のご出席をいただいております。酒田市子ども・子育て
会議条例第7条第2項の規定によりまして、委員の半数以上の出席であり、定足数を満
たしておりますので、これより平成29年度第1回酒田市子ども・子育て会議を開催いた
します。

次第に従いまして、進めさせていただきます。始めに、健康福祉部長よりご挨拶を申し
上げます。

～ 2 部長挨拶 ～

健康福祉部長 改めまして、こんにちは。委員の皆様には、本当にお忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。そして、この会の委員と新たにられました方々、そして引き続きの皆様、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

この会議は、国の子ども・子育て支援の新たな仕組みの創設を受けまして、市が設置いたしました会議で、今回で5年目を向かえることになりました。豊かな子育て環境、そして子どもの幸せの実現という視点から、子ども・子育て支援事業計画の策定、そして変更、進捗状況の点検・評価、そして保育施設等の利用定員などにつきまして、酒田市の子育て支援施策の推進を目的に、ご審議・ご助言をいただくこととなります。

今年は、平成27年度から31年度の5カ年の計画期間の子ども・子育て支援事業計画の中間年にあたることから、ニーズ調査を実施いたしました。この結果などについて、本日はご報告をさせていただきながら、委員の皆様からご意見・ご助言をいただければと思っております。

本市では現在、平成30年度からスタートいたします新しい酒田市総合計画、この策定に向けて、市民の方々が参画した未来会議、或いは審議会などを経ながら進めておりますけれども、現在まで計画の原案を作成しているところでございます。

総合計画というのは、今後10年の市政運営の大きな方向性を出していくという最上位計画にあたりますけれども、その元になる、子育てに関する具体的な施策の推進等につきましては、この子ども・子育て支援事業計画に基づいて検討・実施が行われるということになります。

委員の皆様には、ご負担をおかけいたしますが、子ども・子育て支援制度の円滑な運営と、子どもや保護者、地域の皆様が子育てを通して笑顔にあふれる街にしていくために、どうか引き続きご協力をいただきたいと思いますと思っております。よろしくどうぞお願いいたします。

阿部課長補佐 本会議は、委員改選後、初めての会でございますので、ここで委員の皆様からそれぞれ自己紹介をしていただきたいと思います。大変恐縮でございますけれども、自己紹介は出席名簿順に、3番の私立幼稚園・認定こども園PTA連合会 佐藤 徹様から順番にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

佐藤徹委員 皆さん、こんにちは。酒田地区私立幼稚園・認定こども園PTA連合会 佐藤 徹と申します。

当会について少し説明させていただきますと、平成2年に発足いたしまして、現在は酒田市の6園、遊佐町の1園、計7園の幼稚園・認定こども園で活動しております。主な活動としましては、年1回研修会と交流会を1月に開催しております。また会報を発行して、会の活動を広くお知らせしているところです。

役員につきましては、毎年度持ち回りになっておりまして、今年度は天真幼稚園の当番になっております。私、天真幼稚園のPTA会長をしておりますので、このたび参加させていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

～他委員、事務局自己紹介 中略～

阿部課長補佐 それでは、配付しております資料の確認をお願いいたします。本日配付しました資料は、出欠席名簿、次第、資料3の「市子ども・子育て支援事業計画の変更について」、市民健康講演会のチラシの4部でございます。

また、事前に郵送しておりました資料がございますが、資料1「ニーズ調査の結果について」、資料2「酒田市子ども・子育て支援事業計画 具体的施策の状況（平成28年度）」でございます。そのほかお持ちいただくものとしたしましては、「酒田っ子すくすくプラン」の冊子がございます。不足ございませんでしょうか。

～ 3 会長、副会長の選出 ～

阿部課長補佐 それでは続きまして、会長、副会長の選出に移りたいと思います。子ども・子育て会議条例第6条第1項の規定により、会長、副会長を互選により決めることとされております。また、同条第2項では、会長は会議の議長となるとされております。

今回は任期満了に伴いまして、これまで務めていただいた武田会長が交代しております。改めて会長、副会長を互選する必要がありますので、始めに会長、副会長を選出したいと思います。選出については、いかがいたしましょうか。どなたかご推薦はございませんでしょうか。

(推薦の声なし)

阿部課長補佐 もしなければ、事務局案を提案させていただきますが、よろしいでしょうか。

(異議なしとの声あり)

阿部課長補佐 ありがとうございます。それでは、事務局案といたしまして、会長には新たに東北公益文科大学の講師の白旗希実子先生をお願いしたいと思います。また、副会長には引き続き小学校長会の岩本諒子先生をお願いしたいと思います。

この提案につきまして、賛成の方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

阿部課長補佐 挙手多数でありますので、ご承認といたします。それでは会長を白旗委員、副会長を岩本委員をお願いしたいと思います。

新たに選出されました白旗会長からは、議長席にお移りいただきまして、議事進行を引き継ぎたいと思います。それでは、白旗会長よろしくをお願いいたします。

白旗希実子会長 改めまして白旗です。2014年から東北公益文科大学で講師を務めております。最近では、子育て活動に関する研究、主に父親の育児参加等について調査・研究をしております。

このたび会長を務めさせていただきます。委員の皆様から忌憚のないご意見・ご質問をいただきますとともに、議事進行にご協力くださいますよう、よろしくをお願いいたします。

それでは、次第に従いまして、進めさせていただきます。「4 報告 (1) ニーズ調査の結果について」資料1を、事務局から報告をお願いいたします。

～ 4 報 告 ～

子育て支援課長 私から報告をさせていただきます。事前に郵送しておりました資料1をご覧くださいと思います。

2枚目につきましては、現在の計画の基本施策となります。1番から7番まで、今回のアンケート結果の数値を入れたものでございます。なお、見直し案として、後ほど詳しく説明させていただきますので、よろしくお祈いします。

続きまして、3枚目は飛ばして、4枚目になります。「はじめに」というところをご覧くださいと思います。今回のニーズ調査、アンケート集計でございますけれども、配布数1,015世帯、回答数517世帯、回収率が50.9%となっております。

資料1ページ目お祈いいたします。配布数約1,000に合わせて、保育園等を選定いたしまして、そこを經由して依頼したために、地域別にはなっておりますけれども、特に関係しなくて良いものでございます。

なお、配布対象園につきましては、下段の枠の中にありますとおり、ご覧の園を通して配布しております。あと、未就園児家庭にも配布しております。

2ページ目お祈いします。お子さんの年齢は0歳から6歳まで、ほぼ平均的にばらついているのがわかります。生まれた年が29年であれば0歳児という見方でお祈いしたいと思ひます。

3ページお祈いいたします。兄弟の数を示しております。回答者は約9割の方は、「母親」となっております。

4ページお祈いいたします。子育てを気軽に相談できる人につきましては、96%の方が「いる」と回答して、その相談できる人として1番多いのは「配偶者」、次に「親族」「職場」と「園や先生」となっております。

5ページお祈いいたします。子育てについて気軽に相談できる場所につきまして、「ある」と答えた方は65%です。

6ページお祈いいたします。相談できる場所で1番多かったのは、「保育所」「幼稚園」「子育て支援センター」となっております。また、情報入手先につきましては「親族」、そして「保育所、幼稚園、学校」「インターネット」「子育ての仲間」の順番となっております。

7ページお祈いいたします。出産前後の就労状況につきましては、離職した割合が35%にも及んでいることがわかります。

8ページお祈いいたします。離職の理由といたしまして、保育サービスや環境が整っていた場合、就労を継続したかの問いには、35%の方が「いずれにしても辞めていた」と答えてはいますが、約半数の方は、何らかの環境が整っていれば、継続を希望していることがわかります。

9ページお祈いいたします。本市の子育て支援策の満足度でございますけれども、「満足している」「どちらかといえば満足している」合わせて約7割弱となっております。

10ページお祈いいたします。子育て支援策に「満足している」または「満足していない」理由として、11ページなりますけれども、上段の「満足」「どちらかといえば満足」の理由としては、「金銭面での支援」「相談時の保健師の態度」が多くなっております。

一方、「どちらかといえば満足していない」「満足していない」理由としては、1番に「産科医の数」、相反するようでは「金銭面での支援」、そして「制度の周知」となっております。

12ページお願いいたします。子育てに関しての不安や負担についてですけれども、「ある」と答えた方が37%に及んでおります。

13ページお願いいたします。子育て支援に関しての不安や負担の理由については、「子育てで出費がかさむ」「子育てにより身体の疲れが大きい」「自分の自由な時間が持てない」が多い理由となっております。

14ページお願いいたします。希望どおり保育サービスを利用できたかについてですけれども、約8割の方が「できている」と答えています。一方で「できていない」理由としては、「一時預かり」と「病児・病後児保育」、そして「休日保育」に対する要望が高くなっております。なお、一時預かりにつきましては、保育士不足の影響で受け入れる保育所が少なくなっている現状でございます。

15ページをお願いいたします。本市において子どもの教育環境が整備されていると感じますかの問いでございますけれども、ちょっと飛びまして17ページをお願いいたします。「整備されている」「どちらかといえば整備されている」の理由として、「教育環境づくりに関する情報提供」が1番多く、次に「児童に応じた指導」「体験活動」となっております。一方で「どちらかといえば整備されていない」「整備されていない」という理由ですけれども、相反するようでは「情報提供」が1番多く、次に「児童に応じた指導」となっております。

18ページをご覧くださいと思います。本市における子育て世帯に優しい環境づくり、道路・公園・トイレなどの評価でございます。こちらの方も飛びますけれども20ページをご覧くださいと思います。20ページでは、「評価する」「評価しない」、どちらも「子育てに関する情報提供」、それから「公共施設への子供用便器等の設置」、そして「公園施設の点検改修」が多くなっております。

21ページをご覧くださいと思います。こちらは地域における交通安全、防犯活動についてでございます。こちらの方も次の22ページをご覧くださいと思います。「活発である」「どちらかといえば活発」の理由でありますけれども、「交通安全」や「見守り隊の活動が目に見えてある」ということが多くなっております。そして23ページでございます。「どちらかといえば活発でない」「活発でない」の理由ですけれども、このようにばらついております。

23ページの本市において、児童虐待やひとり親家庭、障がい児など特別な支援を必要とする子どもに対しての支援体制についてでございます。こちらの方も飛びますけれども、25ページをご覧くださいと思います。下段になりますけれども、「整っている」「どちらかといえば整っている」理由で1番多かったのが「支援の内容」、次が「相談できる場所」となっております。一方、26ページをご覧くださいと思います。こちらの方が「どちらかといえば整っていない」「整っていない」理由でございます。「個々の家庭の状況把握・サポート」が多くなっております。

26ページの最後になりますけれども、若者が将来酒田で生活や子育てをしたいと感じますかの問いでございます。「感じる」「どちらかといえば感じる」という割合は、45%に

止まっているというところがございます。その理由につきましては27ページにあるとおりでございます。

簡単ですけれども、以上で説明を終わります。

白旗希実子会長 ありがとうございます。ニーズ調査は施策の進捗状況を評価・検証するための基礎資料を得るために実施したという報告がありました。報告内容につきまして、ご質問、またはご意見をお聞きしたいと思いますが、皆様いかがでしょうか。

石垣直美委員 NPO法人にこっとの石垣です。よろしくお願いします。

前のニーズ調査に比べて、保育サービスの利用の方も大分良くなってきているということで大変良かったなと思っているんですけど、回収率の方が以前のニーズ調査に比べてぐっと低くなっていることについて、ちょっと心配だなと思ったんです。

それで、そちらの原因として考えられることと、対象別の回収率はわかりますでしょうか。

子育て支援課長 50%の回収率しかなかったことにつきましては、ひとつ考えられるのが手渡しではなく、郵送で回答をいただいたということとっております。

家庭支援係長 補足いたします。子育て支援課の阿部と申します。前回の平成25年度のニーズ調査のときは、国の義務付けで行われたものでして、全戸調査をして、保育園や小学校などの施設を通して配布して、施設を通して回収いたしました。そのため回収率はおよそ60%でした。

今回は抽出調査でございまして、1,015世帯にお配りしています。配布については、施設を利用している世帯に関しては、保育園・幼稚園等を通してお配りしました。保育サービスを受けていない未就園児家庭には郵送でお送りしました。

回収は、施設にお手間をかけないように、郵送で回答いただきました。そういった事情もあると思いますが、回収率50%に止まったということになります。

前回、会議でもご説明しましたとおり、回収率は少し落ちてしまいましたが、酒田市全体の傾向をつかむためには、統計学上、およそ380世帯ほどの回収があれば良いとなっております。よって、今回50%回収したことで、酒田市全体の傾向はつかめているととらえております。

石垣直美委員 対象別はわからないんですね。幼稚園に所属している人、所属していない人の割合はわかりませんか。

家庭支援係長 資料1ページをご覧ください。1番下の囲みのおりでございます。天真幼稚園をはじめとして、平田保育園まで750世帯ほどにお配りしております。それ以外、未就園児家庭には250ほど、こういった割合でございます。

石垣直美委員 回収の割合は。

家庭支援係長 回収となりますと、完全には把握しておりません。この1ページ上段のお住まいの学区の数字でとらえていただければと思います。

白旗希実子会長 未就園児家庭と就園児家庭で、回答に差異がみられたのかどうかというところかもしれません。もし今後データがわかれば、教えていただきたいと思います。

ほかにご意見、ご質問はございませんでしょうか。薬丸委員。

薬丸有希子委員 私もこのアンケートに一度、回答させていただいたような気がしますけれども、質問が2点ございます。問1の学区ごとの人数構成ですけれども、これは子育て世代の方達の

分布図と概ね一致すると考えていらっしゃるのかどうか、というところをお伺いしたい。

2点目として、問15、一番最後の設問ですけれども、若者が将来酒田で子育てをしたいと感じますか、という質問ですけれども、このアンケートがそもそも子育てをしている方に配布しているものと承知しておりまして、子育てを現在している人に生活や子育てを継続していきたいという意味でご質問されているのか、それとも若者の意見を想像して書いてください、という趣旨だったのかというところが、私が今読んでわからなくて、どういった趣旨でこの質問をされているのか教えていただきたい。

保育主幹

子育て支援課の堀賀と申します。ご質問の分布図の方ですが、人口の割合とは一致しておりません。実際に一番多く子どもがいるのは、亀ヶ崎・松原学区ということになりますので、そこが突出していないというところを見ると、分布図は一致していないということになります。1千通くらいで30%の回収率を想定したうえで、学区を調整させていただいたために、こういった分布になったものと思います。

もう1点ですが、確かに薬丸委員がおっしゃるように、こちらは本来であれば高校生などの世代に質問をすべきで、表現の仕方として正しくなかったところがありますけれども、若者から子育て期に入ったお父さんお母さん達が、将来も引き続き酒田で暮らしていきたいと感じるか、といったところを想像して答えていただくという内容になっております。

白旗希実子会長

ありがとうございます。ほかにご意見、ご質問はございませんでしょうか。

それでは、次に移ります。「報告 (2) 酒田っ子すくすくプラン平成28年度進捗状況について」資料2について、事務局から報告をお願いします。

家庭支援係長

子育て支援課の阿部です。改めましてよろしくお願ひいたします。私から資料2の説明をさせていただきます。

左側に菱形が3つございます。まずは菱形の1番下をご覧ください。「酒田っ子すくすくプランの方向性」を示してございます。現在進行中の酒田っ子すくすくプランの前身の計画であります酒田市子育て支援行動計画、こちらの中間評価を踏まえた形で内容を見直ししながら330項目の施策を掲載しております。

この330項目につきまして、酒田っ子すくすくプランでは、PDCAサイクルに基づきまして、進行管理を行っております。330項目につきましては、本会議におきまして、毎年施策の実施状況について点検および評価をいただいております。引き続き、皆様方からよろしくお願ひいたします。

なお、各年度の状況につきましては、会議録といった形で市のホームページに掲載しまして、公表いたしております。

菱形1番上に戻ります。具体的な施策の平成28年度末時点での進捗状況について、各施策の担当課が5段階で評価を行っております。表をご覧ください。数字が太字になっているところで、縦計が合計330になっている列をご覧ください。計画を上回って実施した場合にはA評価、20項目ございました。B評価は計画通りに実施しましたというもので、307項目ございました。C評価、事業の対象がなかったものは、3項目という結果になってございます。DとEはございませんでしたので0というようになってございます。円グラフでお示ししますと、AとBを合わせまして99%の事業につきまして、事業が進捗していると言えます。

この中で、目立ちますC評価になっているものについて、簡単にご説明させていただきます。

まず24ページのナンバー233番でございます。「ベビーカーでの移動の利便性、安全性の向上に向けた歩行空間等のバリアフリー化を促進します」という項目でございます。こちらは該当箇所がなかったため実績なしということでの評価でした。こちらは市が実施主体となって、交差点改良や歩道改修を行った箇所がなかったというものでございます。

ちなみに平成29年度は、清水屋の脇の中町モールで改修工事が始まっております。ここは市道でございます。改修工事を終えますとイベントなどに対応した子どもから大人まで集える空間を整備してございまして、現在凹凸のあるタイル張りのような舗装になっておりますが、これを止めてベビーカーでの歩行にも楽な地面にするということでした。正に233番の具体的な施策の推進が図られるということで、来年、平成29年度の評価には期待したいと思っております。

もうひとつのCでございますが、25ページのナンバー239番をご覧ください。「自然環境の保全・活用を基調にした公園緑地の整備を充実します」という部分でございます。評価としましては、平成27年度に東平田さくら公園が完成しまして、それ以降、市が実施主体となって新たな公園整備の予定なしという評価でございました。土木課から聞き取りしましたところ、平成28年度は、主に今ある公園の維持管理に力を入れたということで、新しい整備という部分はなかったということでございます。

平成29年度、現在進行中でございますが、飯森山公園の冒険広場というところを、老朽化に伴って、適正管理を図るための長寿命化計画を策定して、更新していくということを進めているようです。ここには白鳥池周辺の舗装化だったり、あじさい園のトイレのバリアフリー化を進めています。それらに加えて、複合遊具の更新を検討しているということでした。前の項目と同様に、平成29年度の評価に期待したいと考えております。

次に3つめのCでございますが、26ページ目のナンバー250番でございます。「幼児二人同乗用自転車購入への助成を継続します」というもので、これは子育て支援課が担当している助成事業でございますが、残念ながらCの評価でございます。

こちらは幼児が2人乗って、運転する親と合計3人乗るような自転車を購入する場合に助成をするというものでございます。評価のとおり、平成27年度と28年度は補助実績はございませんでした。そういったこともありまして、平成29年度からは事業廃止になってございます。

こちらについては、委員の皆様からもこれに代わるような助成制度だとか、こういったものが必要ではないかというご意見がありましたら、ぜひご提案をいただければ、今の酒田っ子すくすくプランは平成31年度までの計画ですので、次期計画策定の際に落としていって、ご提案のあったものを盛り込んでいくというようなことができるかと思っております。

加えまして、開催通知に同封させていただきました、事前送付シートによりまして、情報提供がありましたので、ご紹介をさせていただきたいと思っております。ページ数は24ページ、ナンバー225番「青少年の健全育成と非行防止を呼びかける研修事業や街頭宣伝活動、広告活動を実施します」という項目でございます。

こちらは宮田委員から情報提供いただいた内容をご紹介いたします。社会教育文化課で事務局を担当している「酒田市青少年を伸ばそう市民会議」が実施しているもので、11

月1日付の広報には、11月は全国青少年健全育成強調月間ですというような啓発記事を掲載しております。また12月8日には「第3日曜日は家族の日」推進運動の一環として、酒田飽海地区の高校生徒会のメンバーと対面会話の大切さをテーマに対話集会を実施していらっしゃるそうです。それから11月から1月にかけて、市内5つのコミセンを会場に、「第3日曜日は家族の日」推進運動と対面会話の大切さをテーマに、小学生から中学生を対象にした地域の大人の方との対話会を実施しているということです。情報提供いただきましたので、ご紹介申し上げます。

そうしましたら戻りまして、進捗状況につきましてはご覧のとおりとなりますけれども、毎回A評価についてご報告しておりますので、引き続き評価の方をご覧いただきたいと思います。

3ページ目をご覧ください。ナンバー20番でございます。「保育園、幼稚園、認定こども園に入園している家庭の経済的負担軽減を充実します」という項目でございます。平成28年度から第1子に数える子どもを小学6年生まで拡大しております。そういった関係で、負担の軽減を行っておりますので、新たにAというような評価になってございます。

次に、4ページ目、ナンバー28でございます。項目は省略させていただきますが、こちらについても認定こども園への移行が、平成28年度に大幅に進みました。そういったことでA評価になってございます。

続きまして、5ページ目、40番でございます。二重在籍して交流し、より充実した発達支援を行っておりますということで、A評価となります。

続いて、6ページ目、51番、新たに2箇所の学童保育所で時間延長を実施しましたので、A評価となります。

9ページ目をご覧ください。80番と81番、結婚サポーターによる出会い事業ですが、80番について平成28年度は過去最多となる13組の成婚に至ったということで、A評価になってございます。相まって、81番では出会いの場を提供しました。延べ65名の出会いの場を提供したということで、A評価になってございます。

続きまして、11ページ目、105番でございます。特定不妊治療でございますが、こちらも平成28年度の申請が87件ということで、A評価でございます。

続きまして、13ページ目、133番でございます。こちらについても予防接種の推進をしており、前年と比較してB型肝炎が追加になっており、A評価になってございます。

14ページ目、ナンバー141です。こちらは新しく市全体のフォロー体系図を作成しましたということで、A評価になってございます。

続きまして、17ページ目、ナンバー168番です。教育支援員の配置を充実させておりますので、A評価となっております。

続きまして、20ページ目の198番と199番です。新日本フィル交響楽団という一流の演奏の鑑賞体験を実施しておりますので、A評価でございます。合わせまして199番は、青少年のコミュニケーション能力の向上に効果が見られましたので、A評価となっております。

それから、22ページ目、213番、小学校7校、中学校2校で計22回実施しました。平成27年度は20回でしたので、評価としては2回増加しており、A評価となります。

続きまして、23ページ目の217番、海洋少年団ですが、年間を通じて36回活動があ

りました。昨年度は6回だったので大幅に増加しており、A評価となっております。

続きまして、25ページ目、234番、子育て世代が集まる公共施設への授乳コーナー、子どもサイズ便器などの整備促進ですが、このたび、市の新庁舎改築工事が終了しまして、1階の多目的トイレにも子供用の小さな便器があります。授乳コーナーも1階にありますし、各種新規整備が進んでおりますので、A評価となります。お帰りの際によろしければ見学をなさっていただければと思います。

続きまして、27ページ目、260番です。スクールカウンセラーの配当時間数を増やして対応したということで、A評価になってございます。

続きまして、29ページ目、274番、275番です。274番については、家族重視のライフスタイルを推奨してございます。275番については、夫婦・家庭の協力による子育てを推進したということで、それぞれA評価になってございます。

続きまして、32ページ目、311番、平成28年度から新たに母子福祉ねむの木会が子どもの学習支援講座を実施しております。新たに取り組みが始まっておりますので、A評価となっております。

最後のページ、34ページ目、ナンバー329番です。今の説明と関連しますが、平成28年度から学習支援ボランティアを実施しておりますので、A評価となっております。

以上、私から資料2について、ご説明をさせていただきました。

白旗希実子会長 ありがとうございます。資料2につきまして、平成28年度の進捗状況の報告がありました。ご意見またはご質問などがあればお聞きしたいと思いますが、皆様いかがでしょうか。岩本委員。

岩本諒子副会長 ナンバー274と275のところ、どちらもA評価がついておりますが、例えば家族で楽しむアート体験には14名の参加、それからペップトークには10名の参加ということで、せっかく素晴らしい研修講座を企画して10名の参加というのが、果たしてA評価になるのだろうかという疑問があるのですが、いかがでしょうか。

保育主幹 こちらの方ですが、現課の評価ということで、岩本委員がおっしゃるように、これが本当に効果があるのかというと、大変疑問があるところです。市全体として、こちらの活動を通して、本当であればこの活動が、最終的にこのライフスタイルの確立に向けた意識啓発や子育てを行うことの意義や、喜びを理解するための学習機会の充実につながったかということが、本来であれば最終の目的かと思っておりますので、そういったところは修正といった形で、現課と調整をさせていただきたいと思っております。

計画通りになるのか、下回ったということまではならないかと思っておりますが、Aということは行き過ぎた評価であるというふうに捉えられますので、こちらは調整をさせていただきます。

まちづくり推進課 予算を節約しながらも内容を充実させて効果的な事業実施をしたところですが、委員ご指摘のとおり、募集定員20名のところ14名参加など、参加者数は伸びておりませんでしたので、現課としてはA評価から→B評価へ変更したいと考えます。

事務局 評価の変更にともない、報告内容を、A評価18項目、B評価309項目、C評価3項目に修正させていただきます。

白旗希実子会長 ほかにご質問、ご意見等ございますでしょうか。和田委員。

和田 誠委員 青年会議所の和田です。ひとつ質問を先にしたいのですが、これを見ていると計画の段階のところ、数値目標とかがあって、こういうA評価、B評価という結果にしているのか。この文章として、出会いの場を創出しますとか、どういった具体的な出会いの場をどのくらい創出する予定があるというものをやった結果、こうだったっていうふうに数字で評価しているのか、どういった評価方法をしているのか教えていただきたいと思います。

子育て支援課長 数値目標は置いておりません。文章のとおり判断しています。本来、担当課にしてみれば、もう少し計画に対する評価といったものがあるんですけど、具体的な数値となるとなかなか置いてるところと、置いてないところがございます。

和田 誠委員 それを踏まえてなんですけど、例えば80番、81番みたいな、結婚サポーターによる男女の出会いの機会を創出しますというのであったら、去年の結果はこうで、今年は244組に出会いの場を提供したというのであれば、確かに目標よりも上回ったんだろうなということでAにできるんですけど、文章だけなので、岩本委員も先ほどおっしゃったように、客観的な評価が果たしてできているのかなど、疑問に思うところがありましたので、その辺のところを少しでも分かりやすいように考えていただければと思います。

私も今年初めて来ているので、これだけ見たときに、やはりこれで本当にこういう評価をできるのかなって、客観的に思ってしまうところがあるので、皆さんしっかり頑張られて、酒田市に何か不満があるわけではないんですけど、評価するときに見にくいなっていうのがあります。

子育て支援課長 おっしゃるとおりでございますので、数値で表わせるものは、できるだけ数値で表していくような形で、今後検討させていただきたいと思います。

まちづくり推進課 補足します。80番については、結婚サポーターの活動です。平成27年度は男女220組に出会いの場を提供し、11組が成婚しました。平成28年度は男女244組、13組（過去最多）でした。前年を上回った実績がありましたのでA評価としました。

81番については、結婚サポートセンターの機能です。結婚サポーターを73人から→75人に増員し、スキルアップを図りながら、体験型の婚活イベントを拡充して実施しました。内容の充実を図りましたのでA評価としました。

白旗希実子会長 石川委員、お願いいたします。

石川正志委員 234番の授乳コーナーとか、A評価になってる部分で要望がありました。ちょうど地域で子育てしているお母さん達が、今の時期だと秋祭りだとかコミセンでやっていると思うんですけど、たまたまこの間、赤ちゃんを連れてお母さんから、「このコミセン、授乳コーナーないよね」というふうに言われました。やはり公共施設としてはコミュニティセンターぐらいは整備してもらいたいと思います。

私が住んでいるのは旧八幡の日向地区で、日向コミセンは元の日向小学校だった施設なので、子供用のトイレだとかは元のままなのですが、授乳コーナーがないなという話になりました。

他の地区のことは全部わからないんですけど、ぜひそうしたところも充実していただければなど、公共施設という意味ではそこも入ってくると思いますので、ぜひお願いします。

子育て支援課長 しっかりと担当課に伝えていきたいと思います。

白旗希実子会長 ほかにいかがでしょうか。

薬丸有希子委員 35、36あたりのことでお話したいことがあります。私は現在、子どもを保育園に預けながら働いているわけですが、子どもが熱を出したとなると、その日1日バタバタとなります。

私が利用したことがあるのは、日本海総合病院の病児・病後児保育なんですけれど、そこは、その日の朝に熱を出した、といって頼んでもまず受け入れてくれないんです。「わかりました、その日は休みます。」ということにして、次の日はというと、キャンセル待ちのことが非常に多くて、そうすると、(子どもは保育園を)明日も休まなければいけないかもしれないし、(一方で親は)仕事に行かなければいけないかもしれないし、という非常に不安定な状況に置かれてしまいます。そこをどうにかならないものかと思っています。

あと、10月から病児・病後児保育を利用するときに、食べ物は全部持ち込みになったんです。だから、朝6時くらいから起きても、9時に仕事に行くのに全然間に合わなくて、朝起きてぐずる子どもに薬を飲ませて、ご飯を食べさせて、お弁当を準備して、午前と午後のおやつも全部準備して行かなければならないというようになってしまったんです。

説明としては、アレルギー対策っていうことだったんですけど、施設内で食事をするということが前提になっているので、少なくともアレルギーがない子どもについては、対応していただきたいと強く思っているところです。

そこら辺の細かなところが、計画のどおり実施されているのでしょうかけれども、その質っていうものが、必ずしもどうなのかなってというのが、私はこの件で思ったんですけども、ちょっとその他の件でも気になると思っております。

子育て支援課長 本市でも大変重要な課題であると認識しておりまして、病児・病後児保育、日本海総合病院で実施しているわけですが、おっしゃるとおり事前の登録がないと使えないという不便さもあるというお話をアンケート調査でいただいております。

今、日本海総合病院の方と、そこら辺、手続きも含めて、もう少し使いやすいようにできないかということで検討してございます。合わせて、定員3名につきましても増やせないかということで、来年度の予算に向けて検討をしているところです。

あともうひとつ、アレルギー対策ですが、実施している日本海総合病院との話し合いの中でそんな形になってしまったのですが、なお、そのアレルギー対策につきましても、もう一度検討させていただきたいと思います。

薬丸有希子委員 登録していても、「その日はダメです。」って言われるんです。そこがなかなか納得いなくて、仕事を休まなきゃいけないかどうかっていう瀬戸際では、非常に苦しい面があるなと思っておりますので、よろしくをお願いします。

健康福祉部長 病児・病後児保育につきましては、今、あきほの病児保育ということで日本海総合病院の敷地内に設置しております。ただ、定員が3名で3種の病気に対応ということで、

すぐに満員になってしまうという状況の中で、他町の病児保育の方に出向かなければならない。或いは、数日間、会社を休まざるを得ないという苦情をいただいておりますので、9名の定員拡充ということと、あと日本海総合病院ですので、事前の診断連絡票は不要だろうと、そこを省略して、直に病院の保育園に連れて行っていただいて、そこで診断を受けて、いわゆる保育の部屋を決めていただくという方法を、これからとっていききたいということで、要求をさせていただいております。

そういった工夫もさせていただきながら進めてまいりますので、ご支援どうぞよろしくお願いいたします。

薬丸有希子委員 非常に期待したいと思います。

白旗希実子会長 ほかにご質問・ご意見等ございますでしょうか。

石垣直美委員 そのことについてなんですけれども、ファミリーサポートセンターでも病児・病後児保育をされていると思うんですけれども、ほとんどが病後の回復期のみでしょうか。

高橋家庭支援主査 ファミリーサポートセンターの預かりにつきましては、家族への感染ということもありまして、回復期のお子さんの預かりということで、あくまでも相互援助活動の一環としてということでございますので、ご協力いただける会員さんをお願いしている状況です。

石垣直美委員 会員さんがOKならば大丈夫ということになるのでしょうか。

高橋家庭支援主査 病後児ということで、これから正に感染の危険があるということであれば難しいと思います。あくまでも回復期ということで、会員さんの中で「大丈夫です」と言ってくださる方がいらっしゃれば、預かるという形になります。

石垣直美委員 もうひとついいですか。

学童についてなんですけれど、先月、台風が来たときに、突然学校がお休みになったということで、家族は仕事に行かなければいけないけれど、子どもはどうしよう、学童はやっていないということで、「にこっと」で一時預かりもしているので、日曜日の夜に着信がたくさん残っていました。

預かって欲しいということだったのかなと思うんですけれど、月曜日、託児の仕事が朝早くからあって、私も8時前から出勤していました。そうしたら、8時過ぎに電話が来て、どうしても今日預かって欲しいということで、たまたま空きがあったので、その日はお子さんを預かることができました。

お母さんに、もし預かることができなかつたらどうしたのか尋ねたところ、会社に連れて行って休憩室で見ているか、会社を休むしかなかったが、どうしても休めなかつたので、空きがあつて良かったとおっしゃっていました。

その後、支援センター会議があつて、そういった話を支援センターの先生達としたときに、遊佐の支援センターの先生が、遊佐では急遽、学童を開いて児童の受け入れをしたという話があつたんですけれど、酒田市の場合は、そういったときに学童を開けるとか、子どもさんを預かるということに、今からなることはありますでしょうか。

子育て支援課長 原則は、学校と同じ対応ということで考えておりまして、学校に通学する際、危険だということで休校にするわけです。学童保育所についても、同様に危険だろうという判断ですので、学校が休校した場合は、学童も閉鎖することとしております。

ただ、想定外の災害等があれば、開けることも可能だとは思っていますけれど、基本的には学校と同じ対応となります。

石垣直美委員 あのととき幼稚園バスは動いていましたので、幼稚園は大丈夫だったということで、小学生低学年の子どもの居場所がないってということで、うちの方に夏休みも預けに来られる方も多いですし、そういった小学生の行き場を作っていただくというのが大切なのかなと思うんですけど、そこら辺のところを検討お願いいたします。

子育て支援課長 当然、居場所作りのための学童なんですけれども、あくまでもその際は災害だということです。学校に行くのが危険だということです。当然学童も同じという判断になります。ご理解いただきたいと思います。

岩本諒子副会長 スポ少指導者の研修という部分で、ぜひ体罰等のないように繰り返し研修を行っていただきたいと思います。これは体罰になるのではないのかという相談も、時々受けることがあります。

子どもたちが放課後に行きたがらないというときは、何かあるというふうに見て、私たちが話を聞いたりしておりますので、競技力の向上はもちろん大切ですが、心や身体を傷つけることのないように、より一層充実させていただきたいと思います。

更に、スポーツ施設での禁煙をぜひ進めていただきたい。子ども達が大会や練習でいるときに、近くで大人がタバコを吸っているというのは、大変良くない場面だなというふうに、いろんなところで感じます。

学校とか、公共施設は禁煙というのが基本なわけですが、スポーツ施設になるとどうしても少し緩くなります。特に室内ですと喫煙場所がなくても、目立つのでそういったことはないんでしょうけれども、屋外で、例えば陸上競技場だとかテニスコートだと、外だからという気の緩みもあるんでしょうが、陸上記録会でも水泳記録会でも、子ども達のいる近くで吸っている大人が多くいます。テニスコートなどでもそうです。吸殻がいっぱい貯まっているような状況を見ると、こういうところも禁煙を進めていただきたいなと思います。

学校では、子ども達へ（受動喫煙に関する）教育をしておりますし、保護者にも啓蒙しています。子どものノートを開いた瞬間、タバコの臭いのするご家庭には連絡をしておりますし、子どもの洗濯物を室内干しにするときに、タバコの臭いがするというのも、学校便りで繰り返し指導しております。指導すればお家の方は気をつけてくれますので、ぜひ広報などでも公共の施設でのタバコということを、繰り返し指導をお願いしたいなと思います。

学校教育課長 学校教育課の斎藤でございます。私どもの方で、小学校・中学校、当然、教員はもちろんのことでございますけれど、体罰防止につきましては非常に厳しく、そして、国・県の情報もタイムリーに流しながら防止に努めていきたいと思っておりますし、更に、資質に関わる部分につきましても、校長会等とも連絡をとりながら、話題にして進めてまいりたいと思っております。

今、スポーツ少年団のお話でしたけれど、そちらも、関係課にもお話を通しながら進めていただくようにしていきたいと思っておりますし、また中学生についても、部活動の外部指導者の問題も、また同じように進めていく必要があると考えています。

特に、義務教育である中学校の部活動のあり方につきましては、今後、部活動の状況や課題も、もう1度、これからしっかり把握する予定でありますので、そういったことを大切にしながら進めてまいりたいと思います。

スポーツ少年団については、スポーツ振興課とも連携をとりながら進めていきたいと考えておりますので、またいろいろ教えていただければありがたいと思います。

健康課長

健康課です。公共施設の受動喫煙ですけれど、こちらにつきましては、われわれ健康課の方でも、健康づくりビジョンというものを作っております、公共施設の禁煙対策は100%を目指しております。

ただ、禁煙の段階は3段階ほどありまして、敷地内禁煙、施設内禁煙、それから分煙といった段階に分かれております。今のお話をお聞きしますと、スポーツ施設については分煙の対応だとは思っておりますけれども、子ども達が多く使う施設ということで、受動喫煙に大変な害があると思います。

体育施設はスポーツ振興課所管ということで、事前の話し合いもさせていただきましたが、今、お話をお聞きしましたので、また改めてスポーツ振興課と話をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

白旗希実子会長 次に移りたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

次に、「5 議事」に移りたいと思っております。「(1) 市子ども・子育て支援事業計画の変更について」資料3について、事務局から説明をお願いいたします。

～ 5 議 事 ～

保育主幹

皆様、資料3をご覧ください。先ほど家庭支援係長から説明がありましたが、市の子ども・子育て支援事業計画なんですが、こちらは市町村の子ども・子育て支援事業計画については、国の基本的な指針によって、計画の量の見込みが、現在の状況と大きく乖離している場合に見直しを行うという形になっておりますので、こちらの変更というものを検討するという事になっております。

酒田市の計画は、実施年が平成27年度から31年度ということで、今年、中間年のため見直しを行うこととしました。見直しの要否の基準としましては、量の見込みよりも10%以上乖離している場合は、原則として見直しになりますが、10%以上の乖離がない場合でも、引き続き受け皿の整備を行わなければ、待機児童などの発生が見込まれる場合や、既に市町村の計画において、年度ごとに設定した目標値を超えて整備を行った年度があるような場合、こういった場合は見直しを行ってくださいというふうに言われております。

皆様、お手持ちの「酒田っ子すくすくプラン」をご覧ください。こちらの100ページ「第5章 子ども・子育て支援」というところになります。こちらの章の中の数値の見直しというところが、今回お示しさせていただくところになります。

最初に「人口の推計」となります。資料3に同じものがございまして、今回作った資料には★印が付いております。こちらについては見直しの着目点ということで、皆様からご覧いただきたいと思っております。平成25年度にアンケートをとって、その時の推計、平成27年度にお示したものと10%以上の乖離がありませんで

したので、こちらについてはこの計画通り維持させていただくという形で進めさせていただきたいと思っております。

次に、「幼児期の学校教育・保育の利用者数の見込みと提供体制の確保の内容及びその時期」ということとなります。計画では102ページ、こちらの下表と、資料3の3ページの上表が同じものになりますが、今回★印ということで、平成28年度に0歳の利用者数が、見込んだ数よりも10%を超えて乖離しましたので、提供量については推定人口をとって計算した数で提供量を増やしております。こちらは変更させていただきたいというところになります。

続きまして、4ページになります。計画では103ページ、「幼稚園・認定こども園（学校教育利用）」ということで、いわゆる4時間の短い時間という形の利用になります。こちらの乖離は10%未満ですので、維持ということにさせていただきたいと思っております。この考え方については、5ページに載せております。

続きまして、6ページ、「地域子ども・子育て支援事業の利用者数の見込みと提供体制の確保の内容及びその時期」というところになります。「(1)利用者支援事業」というところになりますが、こちらは国の補助メニューの中に、基本型・特定型・母子保健型の3つがありまして、酒田市では平成29年度から母子保健型であります子育て世代包括支援センター「ぎゅっと」を開設しております。妊娠期から子育て期まで、切れ目のない子育て支援をするというような内容になっておりますが、子どもが平成27年度の計画に掲げておりました、子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供をしたり、必要に応じて相談・助言、関係機関と連絡調整をとる、いわゆる入園に関する保育コンシェルジュのような利用調整についてはしておりませんので、こちらについてはまだやっておりませんというような形で0箇所。目標は1箇所。これは施設を新たに設けなくても、こういった人材を配置することで実施に当てはまるのかは、今後検討していくことになるかと思っております。

続きまして、「(2)地域子育て支援拠点事業」になります。こちらについては、市内の児童センター、子育て支援センター、つどいの広場、出張型つどいの広場の利用者数になります。こちらの★印も10%以上乖離しておりませんので、このまま計画通りというふうになります。

「(3)妊婦健康診査」について、当初計画では妊娠届出者数の推計値に平均受診回数12.5回を掛けて計上しております。平成28年度の実績は90%を若干下回っておりますが、担当課とも検討した結果、維持でいかせていただきたいということになります。

「(4)乳児家庭全戸訪問事業」については、乖離はありませんので、そのまま維持という形になります。

続きまして、8ページになります。「(5)養育支援訪問事業、子どもを守るための地域ネットワーク機能強化事業」の「①養育支援訪問事業」ですが、こちらのように数字が非常に小さく、1人2人違っただけで、大きくパーセンテージがずれるという場合、国の方では特段それが乖離しているというふうに捉えなくていいです、としています。

子ども家庭支援員については、現在支援の必要な要保護的な児童に対して入っているものですので、何も無い年度もありましたけれども、一定程度の必要数はあるだろうということで、こちらの方も維持にしております。

「(6) 子育て短期支援事業」につきましても、同じような考え方になります。一定程度ないとセーフティネットが働かないというところがありますので、こちらについては維持ということにさせていただきたいと思っております。

計画 108 ページ、「(7) ファミリー・サポート・センター事業」ですが、利用者数の見込みがこちらで見込んだものとのギャップがございます。これはやはり平成 25 年度の実績としては 1,256 件あって、人口の減少率なども掛けながら推計していったわけですが、それよりもはるかに低くなってしまっているというところもございますので、実態に合わせて変更とさせていただきます。

「(8) 一時預かり事業」ですが、計画では 108 ページ、最初に、保育園で行われている一時預かり事業というのは、いわゆる在園児以外ということで、未就園児という形の預かりになります。幼稚園で行われている一時預かり事業は、主に在園している方が、教育時間の後にご両親の就労時間が終わるまで預かっていただくという形になります。

「①一時預かり事業」については、保育園と「にこっと」でやっております。こちらについては、平成 25 年度の利用実績が 8,077 件でございました。その当時、つどいの広場事業の利用状況については、利用定員は限られていますけれど、短時間利用という形で、1～2 時間の利用という方がかなり多くいらっしゃいました。

利用者自体は減ってしまったんですけど、利用時間が長くなっているということで、預かり的には充実されているのかなと思えますけれど、人数カウントでいきますと若干少なくなっています。

本事業の減少傾向としましては、この新しい制度が始まったときに、低年齢児の入所率が、急に、10%くらい上がってきております。そのことで就学前児童が若干少なくなっているということもございますので、相対的に利用のニーズが少なくなっていることがあげられます。あとは、最近の保育士不足のために、園でも受け入れをしたけれど、なかなかそこまで保育士を回すことができないといった事情もあるようです。ですので、こちらについては、実態に合わせて変更ということにさせていただいております。

「②一時預かり事業(幼稚園型)」の方は、乖離はございませんので、変更なしです。

「(9) 延長保育事業」ですが、こちらは充実をしてきておりまして、利用者も増えてきており、増減率 10%を超えておりますので、変更ということにさせていただきます。

「(10) 病児・病後児保育事業」になりますが、先ほど薬丸委員からご質問がありましたけれども、定員が少ないこともあって、なかなか利用者数が伸びないという現状があります。実際に利用したいという希望がありましたが、利用できていないというところもありますので、市内の病児・病後児保育、あきほ保育園の定員拡充を検討しています。実態に合わせて、ここは変更しなければいけませんので、一旦ここではこのような形で推計をとって、変更ということにさせていただきました。

「(11) 放課後児童健全育成事業」ですが、こちらの★印を見ていただきますと、増減率でいうと 10%を超えていませんが、変更ということにさせていただいております。これは一部学童で利用できない待機の状態にあるために変更しているものです。こちらについては、まだこれからも利用が増えていくだろう、子どもは減少していますけれども、利用は伸びていくだろうということで見込んでいます。

「(12) 実費徴収に係る補足給付を行う事業」でございますが、事業内容としては、施設給付にかかるもので、保育園・幼稚園・認定こども園等に支払う文具その他の教育・保育に必要な物品を購入する費用を保護者に対してお返ししていくというような内容です。本計画を立てているときに出てきましたので、酒田市でも国の制度設計を踏まえながら進めていこうということで、現在、国の方では、園等に入っているお子さんの中で、生活保護世帯に対する半額補助というものを打ち出しております。全体的なお子さんが利用するというものではなく、所得の低い世帯のお子さんで、そういった費用、認定こども園などは教育充実費という形で、上乘せですとか実費徴収をされているところがありますので、そういったところで毎月5,000円ですとか、費用が負担になる生活保護世帯の方がいれば、お支払いしていくという制度設計なのですが、酒田市の場合は、今のところ該当するような方がいないということで、実施しておりません。今後も国や県の制度を見ながら、進めていくことにしたいと思っております。

次に、「(13) 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業」ですが、酒田市では認可保育所を目指す、なるべく質の高い教育・保育を受けさせたいという思いがありまして、この計画の中で進めてきております。

その中で、認可外保育所であった「子供の園(その)」が認可保育園になりましたので、既に実施済みということで、報告させていただきます。

最後になりますけれど、1番最後のページに資料3-1というふうに付けさせていただいたものです。こちらは先ほどのアンケート結果でお示した中間年でとった目標数値と、実際のアンケート結果を踏まえてどうするかというところですが、概ねどの結果についても、平成25年度に行ったニーズ調査を下回ったものはございませんでした。

子育て世代の方からは、概ね満足度が上がっているというような評価になっております。その中で「基本施策1 地域で子育てを支援する環境づくり」というところですが、ニーズ調査のときは62%でしたが、現在79%になっております。希望どおりに保育サービスを利用できたと感じる割合ですが、もうすでに目標としている数値を超えておりますので、平成31年度までの計画については85%にしたいと考えております。それについては何かと言われますと、先ほど不足のありました病児・病後児保育ですとか、一時預かり事業などの改善を図っていくことで、実現できるのではないかと見込んでおります。もうひとつ、現在策定中の新総合計画におきまして、最終目標としては90%くらい満足していただけるように、平成31年度は85%を目指したいというところで

す。

次に、「基本施策2 次代を担う若者を支援する環境づくり」というところで、若者が酒田で生活や子育てをしたいと感じる割合も、既に目標値を超えておりますので、半分の方々が自信を持って答えていただけるよう、アンケートでは「わからない」と答えた方が17%おりましたので、施策の打ち方によっては、「酒田で子育てをすることがいいことなんだよね」と言ってもらえるようにしたいという思いがありますので、目標を50%にしております。あとの計画については、概ね維持とさせていただいております。

白旗希実子会長 ありがとうございます。ただいま資料3につきまして説明がありました。ご意見・ご質問などがあればお聞きしたいと思いますが、皆様いかがでしょうか。

(質問の声なし)

～ 6 その他 ～

白旗希実子会長 それではないようであれば、次に進みたいと思いますがよろしいでしょうか。

続きまして、「6 その他」に移りたいと思います。事前質問が届いておりましたので、佐藤真紀委員の事前質問について、事務局からお願いします。

発達支援主幹 福祉課発達支援室より回答させていただきます。貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。

ご質問の内容としては、インクルーシブ教育システムの理解と充実についてということで、特に子育てをしている中で、発達障がいを持っているお子さんを連れて外出する際に、周りの方々の自閉症児・発達障がい児に対する理解が進んでいないので、そういうお子さんを連れていくということで、親のしつけ方が悪いと思われてしまうようなことがないように、ヘルプマークなど、周りから見てもわかるようなものができるのではないかというご意見をいただきました。

インクルーシブ教育については、国の障がい者差別解消法に基づいて、国県市全体で合理的配慮に基づいた教育・支援に取り組んでおります。その中でも、そういう介護ケアをしている人たちがわかるようなマークの普及というものを平成29年1月付けの総務省東北管区行政評価局からも介護マークの普及ということで指導などが入っております。

今、ご質問いただいたのは発達障がいに対する介護ということでしたけれど、中には認知症高齢者を介護している方が、付き添いで街を歩かなくてはならないということがあったときに、周りから見てもわかるようにと、県内でも取り組んでいるところが、7市町村くらいあるのですが、これについては健康福祉部内で検討しているところです。

実際に取り組んでいる山形市に、介護保険課から問い合わせをしているところで、マークとしては両手を広げた手の形の上に介護中という文字が、このネームプレートくらいの大きさのもので、ネームホルダーの中に入っているもので、山形市では高齢者を中心に取り組んでいるということでしたので、本市でも関係部局と協力をしながら、なお検討していきたいと思っておりますので、実際に運用する際には当事者の方々からもご意見をいただきながら進めてまいりたいと考えております。

白旗希実子会長 ありがとうございます。佐藤委員、今の説明に関していかがでしょうか。

佐藤真紀委員 こちらのヘルプマークに関しては、私の息子が通っている「はまなし学園」の保護者の中でもあったらいいなという希望がありまして、他の県では発達障がいに関わらず、見た目で見えない障がいっていうものを、周りの方に理解していただくために使っているという情報を、私達も知ってはいるのですが、取り寄せて付けたところで、当事者以外はそれを見ても何なのかわからないというのがあるので、個人的には、例えば病院などに行ったときに、障がいの特性から必要以上に騒いでしまう、そういったときに周りの目が気になるというお母さんは、「僕は障がいがあります」という腕章みたいなものを付けているという方もいらっしゃるので、できれば周りの方の理解を得られるような、見てわかるようなマークというものがあれば、私達も子育てしやすいなと思いますので、ご検討をお願いします。

白旗希実子会長 事務局から、その他報告事項があるということですので、お願いいたします。

健康課長 健康課です。貴重なお時間をいただきまして、今日お手元に配付させていただきましたA4版のチラシでございます。健康課では毎年秋に、主に心の問題を取扱った講演会を開催させていただいております。最近、若者の自殺ということが何かと話題にされますけれど、今回は「何が若い世代を追い詰めているのか」ということで、NPO法人ライティングの石井さんをお迎えして講演となります。まだ、申し込みに空きがありますので、皆様、または皆様の所属の団体の方からも、ぜひお出でいただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

子育て支援課長 続きまして、子育て支援課から情報提供と報告を、5点ほどございます。

ひとつ目ですけれど、定員に関することとなります。酒田市立八幡保育園と市条保育園、ご承知のとおり、平成30年4月1日付けで市条保育園を廃園といたしまして、八幡保育園に統合する方向で進めてございます。現在の定員ですけれども、八幡保育園が140名、市条保育園は70名、合計210名となっておりますけれども、統合後の新八幡保育園の入所予定数は、現在、入所調整中でございますけれども、140名から150名程度に見込んでおります。定員も140名から150名とする予定でございます。

2つ目でございます。先般、酒田市議会9月定例会が開催されまして、補正予算を出させていただいたものでございます。2つほど報告させていただきます。1つ目は未熟児養育医療給付事業、こちらは医師が入院療養を必要と認めた未熟児で、出生時の体重が2,000g以下の場合、医療給付を行うものでございます。今回、補正額138万8千円ほど増額補正させていただいて、補正後の予算が374万9千円ほどになってございます。

2つ目が、放課後児童健全育成事業、こちらも補正をさせていただいております。この事業につきましては、今まで独自に市の基準額を設定して対応してきましたけれども、今般、国の補助事業の運営費基準額の見直しがございます、これに合わせて市の要綱を改正させていただきまして、増額分と新規事業の放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善による増額分を補正したものでございます。国庫補助が3分の1、県補助が3分の1、市負担も3分の1でございます。

加えまして、県単独事業であります、放課後児童クラブ利用料軽減事業でございます、この事業が拡大されたことによります補正です。3つの要因がございます。今回の国の運営費基準額の見直しですけれども、これまで最低賃金を用いて算出していた職員、年額150万円の3人のうち、1人分につきまして、年額310万円となるよう月額単価を用いての算出に変更されたこと。それから、障がい児の受け入れ推進事業による職員1名の加配に加えて、障がい児5人以上の受け入れを行う場合に、追加で1名の加配の経費が今までは補助されてきたんですけれども、5人以上という条件を、今回3人以上に緩和されたものでございます。

キャリアアップ処遇改善につきましては、支援員の勤続年数や研修実績等に応じて、賃金改善に要する費用を補助するものです。この処遇改善につきましては、学童支援員の賃金改善に充てられるものになります。今回、補正額4,123万9千円ほど、増額補正をさせていただきまして、補正後の金額では、1億9,043万7千円という予算額となっております。参考までに、国庫補助金が890万円ほど、県補助金が1,617万円ほど、残りが一般財源になりますけれども、1,600万円ほどになっております。

間もなく12月定例会が開催される予定でございます。合わせまして、12月定例会に補正予算として、現在、考えている主なものを紹介させていただきたいと思っております。予算要求中でございますので、ご理解いただきたいと思っております。ひとつは、平成29年度から入所扶助費の保育士に対する処遇改善等加算が改正されたことによりまして、増額補正となるものです。内訳としては、処遇改善等加算Ⅰ、これは従来からのものなんですけれども、職員の経験年数に応じて、給付率が2%上がって、公立を除く市内の保育所・認定こども園等で合計約5,000万円ほどの見込みでございます。

更に、処遇改善等加算Ⅱというものがあまして、新規になります。内容につきましては、保育園等の副主任に月額4万円、若手リーダーに月額5千円を支給するもので、公立を除く市内の保育所・認定こども園等で、合計約1億1,000万円程度の見込みになります。このくらいの補正予算を、現在、要求中でございます。

4番目としまして、酒田市立保育園、公立保育園の民間移管の見直しについてでございます。平成16年度に策定された「酒田市立保育園民間移管計画」によりまして、現在まで進められてきております。公立保育園の民間移管、および保育園統合を進めてまいりましたけれども、民間移管は5園、保育園統合によりまして8園から3園になりました。当時、16園あった公立保育園は、今現在7園となっております。

ご承知のとおり、本市におきましては、共働き世帯の増加、低年齢児の入所率が高いこともあり、待機児童が発生する可能性がございます。そういったぎりぎりの状態であるということと、将来は人口減少によりまして、児童数は確実に減少していくだろうということと、先ほどもありましたけれども、多様な保育ニーズ・特別保育が求められているということで、計画策定当時の状況とは大きく変わってきております。

従いまして、今回、酒田市立保育園の民間移管計画の見直しを行っていくところでございます。現在の見直しの原案でございますけれども、例えば、保育士不足により実施することが困難になってきている一時預かり保育、あるいはニーズがあっても変動的で取り組み難い休日保育・障がい児保育、こういった特別保育というものを、公立保育園が主体的に担っていくということで、その責任を果たしていく必要があるだろうというふうに考えております。

また、人口減少等におきまして、市内全体の入所児童数が将来的には減少していくだろうというお話をさせていただきましたけれども、まずは公立保育園が定員を減らして、職員数も減らして対応していくといった、セーフティネットの役割も担っていく必要があるというふうに考えております。

こうしたことで、現在は旧3町地域、八幡・平田・松山に各1園ずつ3園、はまなし学園、それから市街地には1園か2園程度の公立保育園は、子育て環境が大きく変わるまでは、存続していく方向で考えております。皆様方からもご意見があればお伺いしたいと思っております。

最後ですけれども、学童保育所の改修と建設の関係でございます。学童保育所につきましても、待機児童が発生しております。そうした待機児童の有無だとか、施設の安全性・施設の年度だとか、あるいは1人あたりの面積、そういったものを総合的に判断して、優先順位を決めて、学童保育所の改修・建設について決めていきたいと考えておりますのでご理解いただきたいと思っております。

若干、時間が押しておりまして申し訳ございませんが、保育園の民間移管などについて、ご意見があればお伺いしたいと思っております。

白旗希実子会長 民間移管について、ご意見のある方いらっしゃいますでしょうか。

阿部幸子委員 民間移管に関しましては、市法人保育園協議会で、平成18年度に、1番最初に移管させていただきました。何園か移管が進んで、今、法人保育園の方が多くなっているという状況です。ただ、民間の保育園といたしましては、酒田市の子育てにおける模範というのは、やはり公立保育園に担っていただいて、私達がそれに添うような感じが望ましいのではないかと考えます。

私は法人保育園の代表として来ておりますが、この件に関して話し合いをしてきたことではないので、個人的な意見になってしまうかもしれません。移管をして、一生懸命やってきたつもりですが、課長がおっしゃった一時預かりにしても、休日預かりにしても、障がい児の対応にいたしましても、休日預かりはしていませんが、一時預かり、障がい児は、何とか頑張っているわけなんですけれども、公立保育園でしっかりと柱を担っていただけたら、私達はそれに添いたいと思います。

私の園では一時預かりをしておりますが、どうしても会社が休めず、そこに頼らざるを得ないお母さん達が、当日、突然いらっしゃいます。お子さんのそれまでの経過とか先ほどお話のあったアレルギーや病気などの情報は、面談等の紙面でしか無い状況です。

当日来たばかりの慣れないお子さんをお預かりするということは、簡単ではありませんので、病児・病後児保育を拡充するのであれば、スタッフの充実やお部屋の整備、他のお子さんへの感染予防など、十分に配慮をしていただくとともに、親御さんにもアレルギーかもしれないというような不確かな情報ではなく、きちんとした情報をいただけないと、現場は大変だと思いますので、しっかりとルールを決めていかななくてはならないのではないかと思います。

白旗希実子会長 ありがとうございます。委員の皆様から、ぜひここで情報提供したいということがもしございましたら。いかがでしょうか。

(発言なし)

ないようでしたら、以上で「6 その他」を終了いたしたいと思います。委員の皆様には、会議の進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。

ここで、議長の職を解かせていただきます。事務局へお返しいたします。

～ 7 閉 会 ～

阿部課長補佐 ありがとうございます。それでは事務局からひとつお知らせいたします。民間の組織からお出でいただいている方につきましては、報酬および旅費がございました。封筒に内訳書を入れてお配りしております。おおよそ1カ月程度で銀行口座に振込みさせていただきますので、ご記帳の上、ご確認くださいようお願いいたします。

なお、個人番号制度が始まっております。源泉徴収票を作成するために必要がありますので、この報酬をお受け取りの方につきましては、個人番号の申し出にご協力をお願いいたします。まだ市に登録がお済みでない方には、個人番号報告書様式を同封させていただきました。趣旨をご理解の上、速やかにご提出いただきますようお願い致します。

最後に、本日、市内の有料駐車場をご利用の方がいらっしゃいましたら、無料駐車券を準備いたしますので、お帰りの際に事務局へお申し付けください。以上でございます。

長時間にわたりご協議をいただきましてありがとうございました。以上をもちまして平成29年度第1回子ども・子育て会議を閉会いたします。

～ 15:51 閉会 ～